

〔6〕 海外向け設備

2024年はウクライナ危機の長期化や中東情勢の激化、円安の継続等、前年に続き安定性を欠く一年となった。また、半導体需要は回復した半面、中国経済の停滞の鮮明化や年後半では米国トランプ政権への移行を意識する等、民間企業が投資に慎重になるケースも見受けられた。

そのような市場環境下で、当社では各種インフラ建設需要を捉えて、現地ニーズに対応した設備を納入することができた。本稿では、2024年の成果として、それらの製品について紹介する。

南半球に多いアジアやアフリカなどのグローバル・サウスと呼ばれる地域は、今後の経済成長が期待される一方で、設備の老朽化や増強の必要性等、インフラ整備面での課題を抱えている。当社は、これら地域における電力や水の安定供給に貢献する事業向けに電気設備を納入した。

今後も顧客ニーズに即した技術提案を進め、インフラ整備や設備需要に対応していく所存である。

6. 1 電源用計器用変圧器（Power Voltage Transformer）

ナイジェリア電力（Transmission Company of Nigeria）変電所内電源用に、330kV 電源用計器用変圧器（Power Voltage Transformer：PVT）を納入した（図1）。

PVTは、交流高電圧を測定するために、特別高圧を低圧に直接変換する変成器の技術（直接変換技術）を応用し、低圧電力供給用に大容量化した装置である。

今後は、無電化地域の電化を目的としたマイクロ変電所を含めた幅広い用途へ拡販を行っていく予定である。

納入設備の概要は以下のとおりである。

【納入設備】

電源用計器用変圧器（PVT）100kVA×4台

- ・一次電圧：330kV
- ・二次電圧：240V



図1 330kV 電源用計器用変圧器（PVT）

6. 2 低圧受配電設備

株式会社クボタ建設が建設工事を請け負ったラオス人民民主共和国「ルアンパバーン市上水道拡張計画」において、当社は低圧受配電設備一式を納入した（図2）。

本プロジェクトでは、ラオス人民民主共和国北部のナムカン浄水場の更新・拡張することで、水供給能力の向上を図り、持続可能な都市環境整備を通じた同国の経済・社会インフラ整備に寄与するものである。

納入設備の概要は以下のとおりである。

【納入設備】

低圧受配電設備

- ・ 低圧盤 2面
- ・ モータコントロールセンター（MCC） 4組
- ・ 現場操作盤 9面



図2 低圧受配電設備